



萩市須佐地域

公民館だより

須佐地域生涯学習推進
マスコット「まな坊」

※題字は昭和48年発刊第1号時のもの

令和8年

10月

第639号

**集おう！学ぼう！
手をつなごう！**

発行/須佐公民館 〒759-3411 萩市大字須佐4570-1 TEL08387-6-2310 FAX08387-6-2030
弥富公民館 〒759-3302 萩市大字弥富下4043 TEL08387-8-2044 FAX08387-8-2212
特定非営利活動法人 須佐元気なまちづくりネット

猛暑に耐え、きれいに咲いたね～



子ども教室の花だんをみんなでお手入れ(須佐公民館前で)

《今月の話題》

- 中学校部活動が地域移行に・・・2P
- 夏休み後半の子ども達・・・3P
- 「公民館教室」
防災・消費者問題を学ぶ・・・4P

- 久原房之助が残したもの・・・8P
- 昭和時代懐かしい写真を紹介・・・9P
- 町民運動会で元気を取り戻そう・・・10P
- 新コーナー「見て見て、聞いて！」・・・11P

9月から中学校の部活が

完全地域移行開始



昨年度から中学校の部活の地域移行の試行的な活動が展開されていますが、いよいよ二学期(9月)から、部活の完全地域移行が始まりました。

現在須佐中学校内では、毎週月曜日(16:30~17:30)、放課後スポーツ教室としてバドミントン種目を須佐文化センターで行っています。

また、須佐クラブが、毎週土曜日(9:00~11:00)に、軟式野球種目を須佐中学校グラウンドで開催しています。

そして、毎週水曜日(19:30~21:00)に、わかものパレット主催のソフトバレーボールが須佐中学校体育館で開催されています。このように須佐中学校区内の皆さんが地域の子どもの部活を支援するため協力されています。

その他にも、地域外の部活動に参加される生徒もあります。

部活の地域移行は、当初から色々な問題点をはらんでいました。特に、教員の負担軽減や少子化対応を目指した取り組みと表記されているところがありました。スポーツ環境に恵まれない地域をどうするか、もう少し議論の時間があっても良かったかなと思いますし、議論の中心が教育委員会(先生中心)で行われてきた事も問題点の一つかなと思います。



ダブルスでメキメキ上達 (バドミントン)

しかし、今更元には帰れませんし、今は子ども達のために前をしっかりと見定めることが必要かなと感じているところです。

現在須佐中学校の生徒数は、僅か26名です。年々生徒数も少なくなり、部活に取り組む部員数も限界があります。とかく世間では生徒の体力低下が叫ばれている中で、せめて須佐中学校の生徒・卒業生だけは、全国

平均以上の体力の維持は続けてほしいと指導者の皆さんは統一した意見をお持ちです。

スポーツ環境に恵まれた、都会の子ども達とは違い、中山間地僻地に生まれた事で、スポーツ格差を感じることがないように地域の皆さんのご理解とご協力を願うばかりです。

◆各部活動の様子と指導者の意気込み

バドミントン

中学校に勤めていた時、バドミントン部を担当していました。

バドミントンは、スポーツのほとんどすべての要素を持っています。パワー(瞬発力と持久力)、バランス、柔軟性(柔らかさとしなやかさ)が求められるからです。

参加している中学生は、どんどん上達しています。3ヶ月で、私の額にスマッシュを決めました！

地域野球

子ども達に、体を動かす大切さや楽しさ、そして友達とスポーツで遊ぶ時間を持つてほしいと思い、活動しています。また、大人の方々と一緒に野球をする中で、挨拶などコミュニケーション能力もつけていけたら、将来子ども達の役にたつと考えてい

ます。興味を持っていたいただけたら、是非ご参加お待ちしております。



キャッチボールの練習

ソフトバレーボール (わかものパレット)

中学生・高校生が集まり、交流を深めながら、日頃のもやもやをリフレッシュできる環境を提供します。毎年6月に開催される、須佐地区ソフトバレーボール大会へ参加し、大会を盛り上げています。



ソフトバレー大会直前の練習風景

夏休み後編 子ども達は…

宿題！片付け！大作戦！

弥富地区子ども会

夏休みも終盤になった8月20日（木）と21日（金）の両日、須佐地域の子ども達12名が弥富公民館に集まり、夏休みの残りの宿題に取り組みました。

はじめに2日間で取り組みたい宿題の内容を確認してから、各々が宿題に取り組みました。

午前中、しっかりと集中して勉強した後の1日目の午後は、気分転換として、みんなでポッチャも楽しみました。年上が年下の子を気遣いながらプレーする姿は、とても微笑ましいものでした。

2日目の午後からは、お楽しみメニューとして、弥富郵便局の白神局



宿題に取り組む子ども達



長さんによる工作教室を行いました。

今年は、段ボールを使って、ルーレット工作を行いました。丸く切った段ボールにピンを指し、ルーレットを作成した後、ルーレットが回しやすいうよう台座も作成しました。ビー玉を使ったルーレットや矢印で当たり



ダンボール工作に夢中…

を判定するルーレットなど、個性ある創意工夫された工作が出来上がりました。

この行事は、少しでも子ども達の夏休みの一助となればと考えての企画ですが、予定通りに宿題を済ませることができなかった子もいたようです。楽しい夏休みも、あったという間でした。素敵な夏休みになりましたでしょうか？みんなで食べたカレーライス、美味しかったね。

もの作りを楽しんだ夏休み

須佐放課後子ども教室

須佐公民館で活動している子ども達は、夏休み後半も、もの作りで楽しみました。

♪タイル工作♪

8月6日（木）は色々なタイルを使って工作を行いました。プラダンボールを正方形に切り、その上に模



タイルの色を選びながら工作する子ども達

様を描きながらタイルを張っていきまし。『赤色！青！あつハートもある！』と女の子がタイル工作を始めると、いつも元

素敵なデザイン！

♪将棋教室♪

8月10日（月）は、斉藤精さん（本町下）をお招きし、男の子が中心となって



「次の一手はどこへ打とう…」

1対1の勝負を行いました。しかし、将棋を知っている子どもも、さすがに斉藤さんには勝てず、最後は将棋の山崩しで勝負していました。

♪パフェ作り♪

8月19日（水）は、バナナパフェを作りました。透明なカップにアイス、お菓子のオレオ、アイス、そして一番上にスライスしたバナナをのせ、ポッキーをトッピングした簡単なパフェです。

食べる時間までにしっかりと固まらなかったけれど、子ども達は、美味しく食べていました。

公民館学級

防災講座

あの日を忘れない…

須佐あおば勉強室



8月27日(木) 須佐公民館で、萩市総務部防災危機管理課の地域防災マネージャー、福井俊寛さんをお迎えし、「防災の備えについて」という演題でお話していただきました。

主な内容は、「自助(災害が発生した時、まず自分自身を守ること)」「共助(地域やコミュニティなど周りの人たちが協力して助け合うこと)」「公助(市町村や消防、警察、自衛隊といった公的機関による救助・援助のこと)」について。

実際に災害が起こった場合、公助には限界があり、一番は自助、自分の命は自分で守ることが大切になってくるということでした。

そのためには、日頃からハザードマップなどを確認し、自分の住んでいるところは、どんな地形なのか、土砂災害警戒区域に入っていないか、



福井俊寛さん

災害が起こった時の避難場所、連絡の仕方などを家族でしっ

かり話し合っておくことも大事です。

また、防

災グッズも用意してお

くことも必要だとい

うことでした。

実際に、

これまで災害に見舞わ

れた地域の映像も見せていただきました。その中で、平成25年7月に

起きた、須佐地域の豪雨災害の映像が出てくると、「ああ」と参加者が

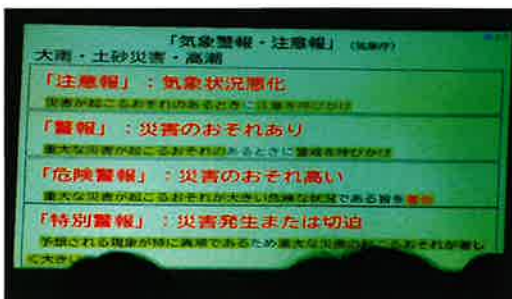
声を上げ「あんなだったねえ」と隣同士である日の出来事を話してお

られました。

全国的に災害が起きている今だからこそ、もう一度1人ひとりが防災

について考え、いつ災害が起きても自分の身を守るように、しっかりと

準備しておくことが大事だと改めて感じました。



気象庁の5段階の警報・注意報を確認

避難訓練を行いました

教室の後、参加者を交え、須佐公

民館が行う避難訓練を行いました。

今後も公民館では、避難訓練を定期的にやっていきます。

詐欺に騙されないで!

須佐さつき学級

9月17日(木)、須佐公民館で「消費者講座」を開催しました。

今回は萩市消費生活センターより講師の方をお迎えし、身近に迫る悪質トラブルの手口とその防ぎ方について、分かりやすく教えていただきました。

前半の講義では、元警察官の井町さんから、最近の詐欺の傾向や被害状況を学びました。現在もつと被害額が大きいの「SNS型投資詐欺」であることなど、巧妙化する実態について知ることが出来ました。

続いて行われた〇×クイズでは、「このケースはクーリング・オフができる?」といった具体的な事例を

もとに、身近な契約のルールを

楽しく再確認しました。

そして講座の目玉は、

リアルな寸劇です。警

察官を名乗りカードを

だまし取る手口や、不



杉山さん



井町さん

用品買い取りを口実に

貴金属を強引に買い叩

く「訪問購入」の事例

を実演。参加者の方が

騙される役を体験した

り、公民館職員による

熱演に笑いが起きたり

と、会場は和やかに盛り

上がりまりました。

最後に、

前回の消費者講座で覚

えた、騙されないためのおまじない

『うそこけ』(うーうのみにしない、

そー相談する、こー断る、けー契約

は時間をかけて)を再確認して、

講座を修了しました。

おかしいな、怪しいなと感じたら一人で判断せず、誰かに相談、もしくはすぐに萩市消費生活センターや警察へ連絡するようにしましょう。そして、周りの人にも声を掛け合



クーリングオフについての問題で〇×の札を上げる参加者

暮らしのサポート講座

上手に睡眠とれてますか

須佐公民館

9月10日(木)、須佐公民館で暮らしのサポート講座(1回目)が開催されました。

この講座は、明治安田生命さんが提供される講座で、これまで、フレイル予防や防災、相続についての話をしていたいただきました。

今回は、『最適な睡眠を考えよう』をテーマに、どうしたら質の良い、快適な睡眠ができるようになるかを教えていただきました。

最初に、参加された皆さんに、良く眠れているかどうかを聞いてみると、ほとんどの方が「眠れてない」「何回も目が覚める」などといった回答でした。

より良い眠りを取る方法は：

一、生活リズムを整える

一、睡眠環境を整える

ことだそうです。また、良い睡眠をとるためには、次の3つのステップがあります。

①睡眠についての正しい知識を知ること：自分に課題となっている生活習慣を知って、改善できそうな習慣を目標行動とすることです。

②良い睡眠をとるための方法を実践すること(例えば、朝起きたら光を浴びたり、毎日の食事で生活リズムをつくったり、お風呂へ入る時間や音と香りでリラクセス効果を実感したり、適度な運動や快眠体操をすることも効果があります。)

③自身にとって良い睡眠を実感すること



自分の睡眠タイプをチェックする参加者

ちなみに、眠れない時「ひつじが一匹、ひつじが二匹…」と数えていくと眠れると言うのは、日本語では効果がなく、英語でひつじはシープ(sheep)と呼び、「シー」と息を吐くことによって呼吸が整えられていき眠くなるということでした。

皆さんも良く眠れるよう、毎日の生活習慣を見直してみませんか？

生き活き教室

血管の老化を防ごう！

つどい会

9月2日(水)は、萩市食生活改善推進協議会支部(以降「食推須佐支部」)研修会で学んだ料理作りで、「糖と上手に付き合って血管の老化を防ごう」というテーマで取り組みました。

はじめに、食推須佐支部から「糖」についての説明がありました。糖をたくさんとりすぎると、いわゆる糖尿病になってしまいます。



順序を確認しながら調理する参加者

しかし、食品には砂糖が多く含まれている

物もあります。例えば、洋菓子や和菓子、パンなどの食品表示を見ると、エネルギーは、70カロリーから490カロリー、糖質は、50gから70gが含まれており、特にエネルギー・糖質の両方多いものが、パンではメロンパンやクリームパン、アンパンが多い

く、また、洋菓子や和菓子では、ショートケーキや大福もち、桜餅や栗まんじゅうなどが、資料を見ると多くなっていました。

おやつは一日200カロリーを目安にし、袋で買っても、中身が小分けされているものを選ぶように心掛ければ良いそうです。また、買い物でどれを選ぶか迷った場合は、栄養成分表を見て、食物繊維が多いもの・糖質が少ないものを選ぶようにしましょうと食推さんから学びました。

今回の献立は「夏野菜の和風酢豚」「じゃがいもの塩昆布サラダ」「切り干し大根のみそ汁」「ところてん」です。砂糖は一切使わず、脂質も少なめにし、各メニューの材料の中で簡単に味付けができるようになっていました。また今回は、ごはん以外の副菜量は243gでした。

見た目、酢豚の肉の量も多く、みそ汁も具たくさん。さらに、ところてんも小皿でしたがたっぷり入っており、「これだけの量、食べれるかなあ」と言いながら、参加者は、黙々と食べていました。

皆さんも、糖と上手に付き合いながら、美味しく料理を食べるようにしましょう。



ボリューム満点の昼食

地域の原動力

公民館

奮闘記

63



旧須佐町中央公民館

須佐元気ネットの収入源

特定非営利活動法人須佐元気なまちづくりネットを運営するための収入源は、公民館や資料館などの事業受託金額でその10%が法人の収入となります。

平成28年度は約900万円、その内の10%90万円が地域を元気にするために法人が自由に使える予算となります。当初は90万円も使えるのだとぬか喜びをしていましたが、いざ本番となると、50万円どころか実際に使えたのは30万円に満たないという現実の厳しさでした。

萩市から事業受託で頂ける予算も、なかなか厳しく要望通りには行かず、最低賃金の金額のものも多く、職員には申し訳ない状況が続いています。何かやり繰りをしなければいけないと、草刈り業務や清掃業務を追加したり、ほとんど当たること



みんなの意見で地域の発展を

はありませんが民間の補助金の申請をしたり予算の捻出を会員みなで考えました。

よくNPO法人は、儲けてはいけないとよく言われますが、収益事業でも従業員の賃金や必要経費は別です。また、従業員の賃金も最低賃金を下回することはできません。

むずかしい法人会計

法人つまり会社の経理は、任意団体の会計(引算方式)とは違い、複式簿記による会計となります。法人立ち上げの時法人会計をどうしようかと悩み何度も研修に参加してみましたが、なかなか複式簿記が頭に入りませんでした。幸いにも職員の中に、簡単な会計なら出来ると引き受けてくれる方がおられ一安心しました。

帳簿の記帳から、初めてのことで、税理士さんと頻繁に連絡を取り合っていたことを記憶しています。

令和5年度よりNPO法人会計事務が電算化され、仕分け作業や貸借対諸表・財産目録などがスムーズに移行できるようになりました。

しかし、賃金表や税務処理、社会保険管理、伝票処理については、会計ソフトとの一致ができず、従来からのエクセル処理に頼っているような状況が続いています。

このように、法人会計事務では、七転八倒の日々が続き、どうにか会計年度(3月31日)の日を迎えました。今まで親方日の丸のような環境の中で給料を毎月もらえる立場か

ら、今度は給料を支払う立場になり、役所の会計課職員の立場が身に沁みたところです。

とかく、私が住んでいる地域周辺でも最近農業法人と名のつく法人が沢山あります。その多くは、「会計は分かんやれん・・・」とよく話を聞きます。

そんな「やれん」という意味が最近よく分るようになりました。

たしかに「やれん」で済めば、それで良いのですが、誰かが手を差し伸べなければ、地域は良くなりませんし、下手をすれば無くなります。

それをさせないために、「自らの地域は、自らが守り育てる」という信念の元、活動を展開する必要があります。

一人では達成できない事も、みんな協力することにより、自分達の

地域を少しでも良い地域に出来ればと思います。



みんなで助け合うことで立派な地域を・・・

ぶらぶら

まちあるき



タモリに負けずわが町を紹介

「ブラタモリ」ならぬ『ぶらぶらタムラ』が、わが町を紹介します。これまで複数回にわたり、「禁門の変と須佐」をテーマに「須佐兵達」がどのように行動し、活躍したのかを文献等で紹介しましたが、このコーナーをお読み下さった皆様から、色々な感想等を頂きました。そこで、今回は皆様からお寄せいただいた事項について、ご理解頂きたいと思ひます。

まず一つ目は、「幕末とは？」今から約160年前の歴史は面白いが筋道がよく分からないとの質問。

○昔天皇は京都に住んでいた

尊王攘夷は、天皇を中心とする政治を尊び、外国の干渉を排除して国を守ろうとする思想です。幕府の権威が衰え、外国からの圧力が高まる中で生まれ、水戸学（水戸藩で興

隆した学問）などを通して全国に広まりました。まず最初に、昔の御所（天皇の住所）は京都にあったという事です。

つまり京都御所が天皇の本宅でした。幕府（江戸幕府は徳川氏）の元天皇の仕事に従事していたと言えます。仕事の内容は、もっぱら祭祀に関する事が多く、幕府との連携



天皇が暮らしていた京都御所

が大きな事件にもつながる時代でした。したがって幕府が天皇を利用したり、天皇が幕府を利用するといった複雑な時期もありました。

祭祀は、天照大神を斎／いつき（身を清めて神に仕えること）祭り、日本国と日本の民の安福を祈り、四方の荒ぶる神を鎮めること。また、臣下（太政大臣や将軍など）をその職に任じるなどの国事を行うなど。これは現在もほとんど変わっていない

ません。

そんな関係の中、幕府と朝廷は天皇と公家による国家の名目上の最高機関（権威）で、幕府は將軍と武家による実際の統治機関（権力）でした。中世以降は、朝廷が天皇の権威を保ちつつ、幕府が武家政権として全国支配を担う二重構造が続きました。

武士の社会も色々・・・

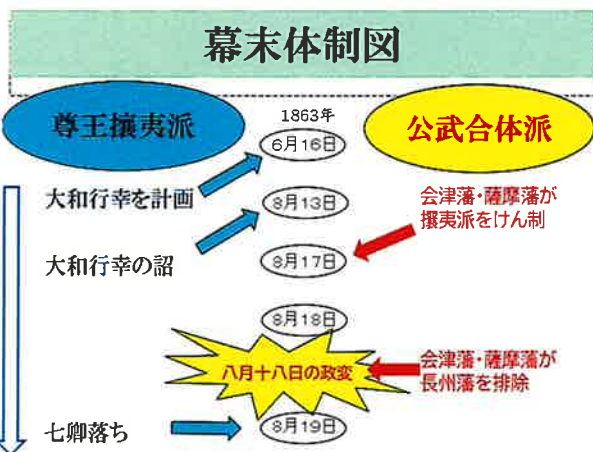
武士社会も、慶長5年（1600）に勃発した、関ヶ原戦いで徳川氏に加勢した大名（勝組）は「譜代（ふだい）」といい、反対の負組の大名は「外様（とざま）」と言われていました。外様の毛利氏は関ヶ原以降領地も石高も減され緊縮財政の中、萩藩の立て直しに尽力していました。

このように、徳川時代が約260年続く中、全国の中でも色々な思想が飛び交い、片や徳川氏に忠実に従う藩や同じ徳川の身内でも反感を持つ藩なども現れ、色々な駆け引きが展開されました。

萩藩も、毎年正月には「今年は幕府（徳川）を打つ」藩主の決断を伺っていたと言われていました。そんな中、尊王攘夷派と公武合体派の熾烈な争いがありました。

公武合体派とは・・・

一方「公武合体」とは、幕末に朝廷（公）と幕府（武）が提携し、国内の政局安定と対外危機への対応を図ろうとした政治構想・政治運動を指します。



尊王攘夷とは・・・

「尊王」は、天皇を中心とする政治を尊び、「攘夷」は外国の干渉を排除して国を守ろうとする思想です。幕府の権威が衰えると、外国からの圧力が高まる中で生まれ、水戸学などを通して全国に広まりました。

この二つの派が、天皇を利用することによるクーデターとが発生したものです。これが「八月十八日の政変」です。つづく



みこと君が昔の思いを伝えます

久原房之助翁頌徳碑

くばらふさのすけおうしようとくひ
久原家のはじまりは、正保年間（644～47）益田家22代益田就宣（なりのおぶ）に呼ばれ、石州（島根県）益田から須佐に移住したことに始まると言われます。



久原園地に建つ頌徳碑

領主益田家の命により須佐初代（久原助左衛門）が浦庄屋となりました。それ以後220年間、益田家の村役人、または御用商人として地域経済社会の中枢的な地位を占めていました。また、敷網株主、回船問屋で大型船による松前（北海道）方面の水産物交易、防長米の大阪への輸送、東

北地方の材木買取りなどの事業をして財をなしました。
久原家は代々須佐の浦庄屋をつとめました。房之助は、父庄三郎（十一代）の4男として明治2年（1869）萩市唐樋町で生まれました。



久原房之助翁

房之助は、明治22年（1889）慶應大学を卒業後、明治38年（1905）日立興産を創立、以後、久原鉱業（現JX金属）や日立製作所を創立、昭和3年（1928）衆議院議員に初当選し、政治家としての道を歩み、田中義一（萩出身）の時、通信大臣を務めました。



整備された久原波止場

房之助は、須佐湾入江に、父庄三郎の名で久原波止場の築造にあたっては、巨費を投じて北浦屈指の良港であった須佐港はいっそう繁栄し、さらに熊野鉾山（鈴野川）の鉾石搬出にも大いにこの波止場は貢献しました。



墓参りに帰省された久原翁

房之助の晩年は、久原奨学資金を設けて須佐町民子弟の進学を援助したのをはじめ、多額の寄付をなして経済・文化・教育面において多大な貢献をしたということで、須佐町は昭和34年2月に名誉町民の称号を送り、その功績をたたえました。

また、須佐より遅れること昭和36年5月には、萩市名誉市民に推挙されました。

この頌徳碑は、久原奨学金の支援を受けた奨学生等47名が中心となり、

須佐町の躍進・発展に物心両面に渡り幾多の恩恵を賜りました久原翁に對しまして謝意を表するために、平成元年3月ここ久原園地に久原房之助翁頌徳碑を建立しました。



奨学金が房之助への感謝を刻んだ頌徳碑の裏

久原房之助は、近代日本の先駆者として、経済・政界分野で大活躍するも昭和40年（1965）1月29日96歳の生涯を閉じました。
房之助の残したこの偉業は、今後とも須佐の誇りとして、後々の代までも語り継ぎたいと思います。

昭和101年

ぽっぽや

山岡保治

今昔物語

5



カメラで昭和を追う・・・



今50才代の子ども達です

懐かしい昭和を感じさせる2枚の写真です。／須佐保育園運動会頃です。当時は、園児たちは桃林幼稚園（山根丁東）や須佐幼稚園（浦中）、須佐保育園に分散し登園していました。この写真は、昭和56年10月4日に撮影したものです。



♪♪南の島の大王はカメラハメハ・・・？

写真フィルムには須佐中学校運動会と記載されていましたが疑問を感じ、狭い運動場で演技してる姿や建物を検証すると本町上に保育園があった頃であると判明しました。元気な子ども達がハワイアン姿で運動会が盛り上がった頃の様子でした。ちなみに、写真を元に当時の保育園職員や当時の園生（現在50歳代前半）の方に聞くと、色々な事が判明。写真は公民館に展示しています。山岡保さん50歳の作品です。

まいど！

地域おこし協力隊の山本です。須佐の皆様のお話をお話をお届けするこのコーナー。今回は、0さんの素敵な旅のお話です。

このお話を記事にしてみたいと思っただきかけは、0さんの家の玄関に飾られた見事な雪山「マッターホルン」の写真でした。靴を脱ぐと、見上げるちょうどいい位置にこの写真があるんです。ほんまに山を見上げてるみたいで素敵なんですよ。

この写真、ホテルの朝食時にツアー仲間から「今、綺麗に見えとるよ！」と声をかけられ、朝ごはんもそこそこ慌てて外へ飛び出して撮影した一枚なのだそうです。

この写真を皮切りに、旅の思い出話をたくさん聞かせて頂きました。チュニシアの親切だけどなかなか出発しない乗り合いバスの話、パチカンの有料トイレのチップを日本円で払った話、ある年は3月にニュージーランド、6月にスイスへ飛んだ話などなど……次々と飛び出すエピソードに思わず大笑い！



須佐の皆様の心温まるお話を紹介します！



靴を脱ぎ、顔を上げるとそこにはマッターホルン

そんな旅好きで0さんのパスポートは現在3冊目。前回の更新時、窓口で「5年でもいいんじゃない？」と言われたそうですが、「やっぱり10年で！」と更新されたのだとか。そのパスポートも、なんとあと3か月で有効期限を迎えます。「もう海外は無理かな」とおっしゃる0さん。次の更新はどうなるのでしょうか？今から楽しみに期待しております！次回もよろしく願います！

【活動報告会のお知らせ】

山本は12月末に任期満了を迎えます。これまで温かく支えて下さった皆様に感謝を伝える活動報告会を開催します。ぜひ、お気軽にお越しください！

日時：12/6(日)10時～
場所：須佐公民館

お知らせ

須佐地区町民運動会



昔を懐かしみ参加しませんか

今年は2年に一度の体育大会、数年体育大会と名称も変わり今日の年になりました。市町村合併以来20年に至っています。

この時期になると、昔の町民運動会を懐かしむ声が聞こえてきます。集落が一つになる喜びを知っている方々の声です。もう歳を取ったからと敬遠する人は少なくありませんが、楽しいことならやりたいと言う人も少なくありません。

先般体育大会を主催する須佐スポーツ振興会の役員による実行委員会が立ち上がりました。今年度の会長は、スポーツ振興会須佐支部長の藤山勝彦さんが会長に就任されました。



写真／平成10年須佐地区運動会から

実行委員会では、高齢化社会を迎え、高齢者でも簡単にでき、ケガのない競技をとの要望もあり検討を重

ねました。しかし、運動会に競争はつきものなので、ある程度競争の種目も活かしたプログラムを計画しました。(別添のとおり／須佐地区のみ)



今も続く玉入れ競技

昔の町民運動会の復活を

実行委員会では、楽しい競技大会として、昔なつかしい「町民運動会」を復活してはどうかとの意見が出ました。これは、あるテレビニュースの中で、過疎化にあえぐ地区が、もう一度楽しかった「町民運動会」を復活するというニュースを真似るものです。

どうか、みんなが楽しめる「町民運動会」になることを期待したいと思います。

町民運動会の思い出

スポ振須佐支部長 藤山勝彦



須佐地域では2年に一度体育大会(旧町民運動会)を行っています。

その町民運動会の私の心の中のヒーローの話です。

昔、私の家の近所に大工の作業場がありました。そこに毎日来ていた小柄で浅黒く、頭は角刈りでそりこみが入っていた松本亀次(通称・かめちゃん)というおじさんがいました。私には怖いおじさんでした。

その日は2年に一度の町民運動会の日でした。競技種目の中にリレーリレーという種目がありました。チームとは、自転車車の車輪からタイヤとチューブを外した状態のものです。そのリレーに竹の棒を使い、転がしながらトラックを半周ずつするリレー競技です。

みんな右に左に蛇行しながらなかなかうまく走れない中、一直線にみんなを抜き去る黒い小さな人が目に飛び込んできました。

そうです、『かめちゃん』です。私の中にヒーローが現れた瞬間でした。今でもはつきりと覚えています。どう見ても運動なんかしそうでないかめちゃん、足は短いのですがリレーと同じくらいの回転力で私の前を走り抜けていきました。

それ以降、学校帰りに作業場に寄ってはかめちゃんと話すようになりました。顔は強面ですが、話すときこう照れ屋ですごく優しいおじさんでした。

今年は2年に一度の体育大会の年です。住民の高齢化と人口減少で参加者がかなり減っています。そこで今年は競技種目を見直し、小さいお子さんからお年寄りの方まで一人でも多く参加してもらえる大会にできたらと思っています。

参加してもらう事はもちろんですが、かめちゃんのようなヒーローが出てきて誰かの心につつまでも残るよう、須佐スポーツ振興会の会員みんなで盛り上げていきたいとおもいます。



町民運動会の参加のお願い

昔は、人口も多く須佐地区だけで15チームありましたが、人口の減少に伴い、現在では須佐駅を中心に東西南北に分けたチーム編成で大会を行なっています。

詳しくは、別紙チラシ(プログラム)により開催します。午前中の限られた時間内で開催しますので、一人でも多くの皆さんが参加されますようご案内します。

○とき 10月18日(日)

午前9時より

○ところ 育英小学校グラウンド

見て見て



聞いて



旅する蝶「アサギマダラ」

アサギマダラは、美しい青みがかった翅（はね）を持つ大型の蝶で、日本から東南アジアにかけて広く分布しています。特に秋になると、長距離を渡る渡り蝶として知られています。この蝶はフジバカマの花蜜を好み、渡りの途中に立ち寄り、フジバカマの周りを優雅に舞う姿が見られます。

弥富公民館では、アサギマダラを呼び寄せるために昨年、敷地内のプランターにフジバカマを植えました。



※弥富公民館提供

フジバカマは秋の七草のひとつで、秋に淡紅色の花を咲かせます。県内では10月頃にアサギマダラが飛来します。うまいければ弥富公民館でもアサギマダラを観察できるかもしれません。来館の際には、ぜひ気にかけてください。

ロビーコンサートでほっこり

(地域トピックス)



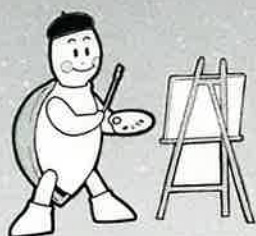
9月16日(水)、須佐総合事務所1階ロビーで、下関市の「天籟」[ENRAI]の3人グループによる、ピアノ、尺八、ピッコロのコンサートが開催され、大勢の方が来場されていました。

民謡や童謡、そしてテレビアニメのルパン三世の曲など、多彩な曲を披露していただきました。

中でも、童謡では「ふるさと」など知っている曲もあり、来場者からは自然に歌詞を口ずさんでいる姿も見られました。



第42回 須佐美術展開催



★開催期間 11月1日(日)～5日(木)の5日間
午前9時～午後4時

★開催場所 須佐公民館(1階多目的室・ロビー)
須佐文化センター玄関ロビー

《人権教育啓発作品》

人権に対する正しい理解を求め、明るく住みよい社会を目指し、皆さんの心に訴える力作を展示します。

《萩市美術展巡回作品》

萩市で開催された美術展の中から、すぐれた作品を展示します。

《ふるさと愛護スケッチ作品》

須佐地域の故郷の自然と文化・文化財に対し、お互いが認識を新たにし、保護・活用を図り後世に伝えることや、郷土を愛することを育むことの重要性を考え、歴史と文化、そして、美しい自然に囲まれた須佐地域を大切にする心を養うことを目的として毎年開催しています。

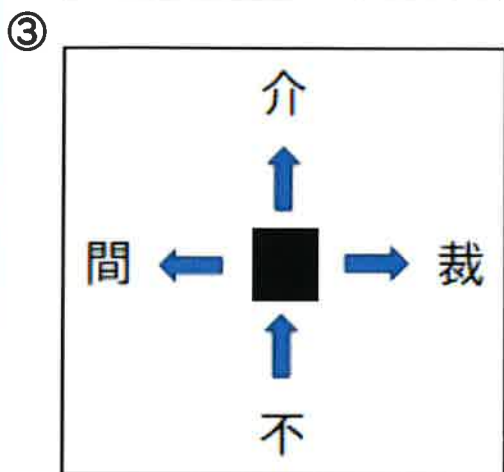
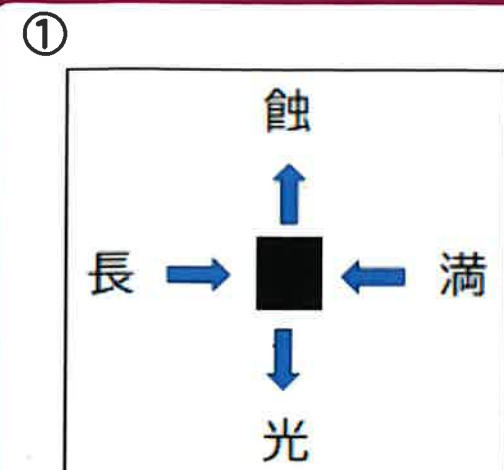
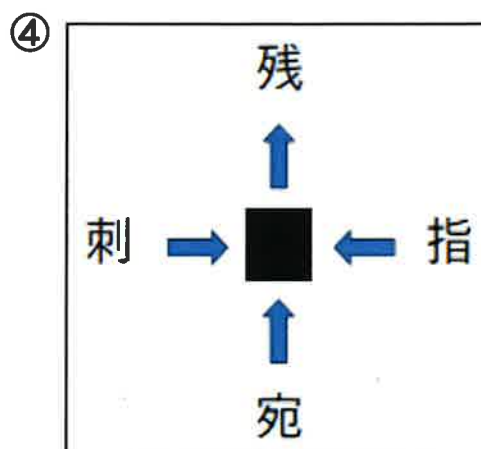
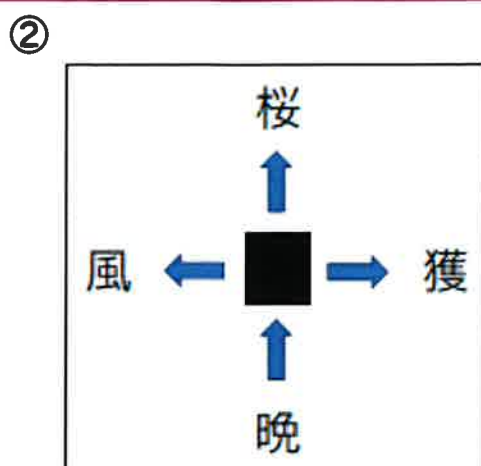
★お問合せ：須佐美術展実行委員会事務局(須佐公民館内) Tel 6-2310

お家時間を楽しく過ごそう！

さあ、このコーナーは、『クイズ』で楽しみましょう！

今回も「漢字クイズ」です。それでは：

次の①～④の■に入る漢字を解き、解いた4つの■でできる「四字熟語」を作りなさい。（答えは、最終ページに記載）



レシピ クッキング！

今回も、韓国の料理です。家庭でも簡単にできる料理です。

《キンパ》

キンパは韓国語で「キンパプ・キムパプ」と呼ばれており、キン（キム）＝海苔、パプ＝ごはんを合わせた言葉で、キンパは、韓国風の「海苔巻き」のことです。

ご飯は、酢飯ではなく、ごま油と塩を混ぜ込みます。



■材料（1人分）

ごはん 200g、焼き海苔 1枚、牛肉（薄切り）100g、しょうゆ 小さじ2、はちみつ 小さじ1、コチュジャン 小さじ1、たくあん 1/2本、ほうれん草 2束、人参 1/2本
*ごま油・塩・白いりごま・卵・油 各適量



■作り方

①人参は皮をむいて細切りに、たくあんは海苔の長さに合わせて切り、1cmの細切りにする。

②フライパンにごま油 小さじ1を熱し、人参を炒める。全体に油がまわったら塩一つまみを振って軽く混ぜ、お皿に移しておく。

③薄焼き卵を作る。フライパンに油 小さじ1を熱し、溶き卵を入れて薄く延ばし、周りがフツフツしてきたら返して3分焼く。焼いた卵を3つ折りにし、細く切る。

④フライパンに油を小さじ1入れて熱し、牛肉を炒める。色が変わってきたらしょうゆ、はちみつ、コチュジャンを入れ、よく絡ませる。

⑤鍋に湯を沸かし、ほうれん草をさつと茹でる。茹で上がったら変色予防のため、氷水に入れる。水けをきってボウルに入れ、ゴマ油 小さじ1と塩を一つまみ入れて混ぜ合わせる。

⑥温かいご飯をボウルに入れ、ごま油 小さじ1と塩 小さじ1/2、白ごま2つかみを入れてしゃもじで混ぜる。

⑦巻きすに焼き海苔をのせ、その上にご飯を薄くしき、ほうれん草、人参、牛肉の甘辛煮、たくあん、錦糸卵を載せ、端からグルグルと巻いていく、巻き終わりは、ぐつとしつかりと閉じ、そのまま5分ほど置いておく。

⑧好みの厚さに切り、表面にごま油を塗ったら出来上がり。



生涯学習作品コーナー

【俳句】

サングラス意気揚々と三歳児

(山根丁東) ゆめはるか

炎天のビルの底なる交差点

(浦東) 西田梗野

空蟬の幹掴みたる爪硬し

(浦東) 西田梗野

散歩連れくるりあと先赤とんぼ

(松原) 山縣セツ子

荒れた土手並んで派手よ彼岸花

(松原) 山縣セツ子

【短歌】

老い進み米寿の夏に思い出す

亡母の話し「やくにたたないものになった」と

(青葉台) 田村雅利

幼子の母と一緒に手を合わせ

じつと目を閉じ祈る仏前

(山根丁東) ゆめはるか



須佐の偉人伝 大塚均

115

このコーナーでは、切手デザインの大家である大塚均(山根丁東出身)さんがデザインされた約120点の作品を随時紹介しています。

切手カバー図案も合わせてお楽しみ下さい。



大塚 均 (1911-1998)

文化財シリーズ/人物画像鏡切手

画像鏡は、やや扁平(へんぺい)な浮彫りで表された紋様が漢代の「画像石」の図像に似ているために、「画像鏡」と呼ばれている。小さな突起である乳(にゅう)によって区画された空間に、神仙や車馬、舞い、曲芸、故事由来の図像などを表すことが多い。中国から伝わった画像鏡は、当時の日本の支配者層にとって、権力や威信を示す重要なアイテムだったと考えられています。

昭和56年7月10日文化財シリーズの中で80円切手が発行された。大塚均70歳時の作品です。



均

2026

10月 地域カレンダー

●=須佐公民館

●=弥富公民館

●=生き生き教室

●=学校・保育園行事

●=スポーツ関係

●=保健センター

●=子ども対象行事

●=弥富グラウンド

日曜日

月曜日

火曜日

水曜日

木曜日

金曜日

土曜日



★読書週間

期間：10/27～11/9



1

生き生き体操 8:45

2

3

4

■そばの花まつり
(弥富)9:30

5

●スマホ相談所 9:00
●ピンポンクラブ 13:30

6

●パッチサークル 9:30

7

●つどい会 10:00
●スマホクラブ 14:00

8

●習字教室 10:00
●暮らしのサポート講座 13:00

09

●手芸クラブ 9:30
●囲碁・将棋 13:30

10

●保育園運動会

11

●韓国カフェ 13:30

12

★スポーツの日



13

●エコクラブ 9:30

14

●歩こう会 8:45
●色えんぴつ画 13:30

15



16

17

18

●須佐地区町民運動会
(育小グラウンド) 8:30
家庭の日

19

●ピンポンクラブ 13:30
●市政報告会 18:30

20

●あおば勉強室 13:30

21

●料理教室 9:00

22

●市政報告会 18:30

23

●手芸クラブ 9:30
●G・Gを楽しむ会 9:30
●囲碁・将棋 13:30

24

●須佐中文化祭

25



26

●エコクラブ 9:30
●ピンポン・ポッチャ 13:30

27

●パッチサークル 9:30
●ふれあい昼食会 11:00

28

●色えんぴつ画 9:30
●音楽療法 13:30

29

30

●さつき学級 8:00
●須佐美術展準備 (須公) 13:00

31



★問い合わせ先

須佐公民館 Tel ⑥ 2 3 1 0
弥富公民館 Tel ⑧ 2 0 4 4

★各教室の詳細は、回覧のチラシをご覧ください。

●須佐あおば勉強室・さつき学級
外部研修
「瑠璃光寺へ行こう」
○とき 11月19日(木)
須佐公民館9時発●弥富さつき学級
「視察研修」甘露醤油資料館
柳井発電所」
○とき 10月30日(金)
午前8時から
○ところ 柳井市●弥富料理教室
「みんなで作ろう!秋のごちそう」
○とき 10月21日(水)
午前9時から
○ところ 弥富交流促進センター
○講師 阿武産直千代丸食堂
調理師 児玉勝美●須佐あおば勉強室
「廃油のキャンドル作り」
○とき 10月20日(火)
午後1時30分から
○ところ 須佐公民館

伝言板



※クイズの答え=中秋名月

毎月第3日曜日は「家庭の日」
今月は「18日」です
★家族みんなで過ごしましょう!

須佐地域の人口 (R8.8月末現在)

	世帯数	人口	前月比
須佐	896戸	1,555人	(△10人)
弥富	205戸	375人	
合計	1,101戸	1,930	(△10人)
昨年比	世帯数△25人	人数△58人	

編集後記

異常気象は、氷河を溶かし大災害となつていきます。身近なところで10年前20年前を考えると、体温を越すような日があつたでしょうか?

結局背に腹は代えられずクーラーは日夜付け放なし、物価高の中、電気代がどのくらいいるのか請求金額が心配です。地球温暖化とはいえ、40度越えの夏はもうそこまで来ています。秋の彼岸花が8月末には咲いていました。台風も行き場所がなく沖縄をぐるぐる迷走、どこかが狂い始めています。